

# HiKOKI

## 取扱説明書

### 用途

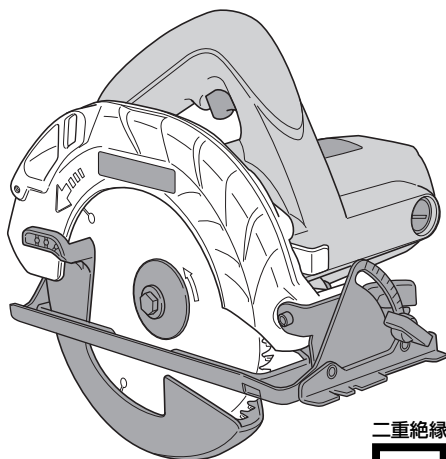
- 各種木材の切断
- 各種化粧板、薄物樹脂板、軟質新建材の切断

ブレーキ付 **丸のこ**

165 mm **C 6SS**

190 mm **C 7SS**

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



C 6SS

二重絶縁



電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	4
本製品の使用上のご注意	4
各部の名称	7
仕様	7
標準付属品	8
別売部品	8

はじめに

ご使用前の準備	9
のこ刃の取付け	10
ご使用前の点検	11

準備

直角に切断する	13
傾斜切断する	15
のこ刃の交換	17
ガイドの使い方	19
ダクトアダプタの使い方	20

使い方

保守・点検	21
ご修理のときは	裏表紙

その他

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

## **⚠警告**、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

**⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

## 電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### **⚠警告**

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。**
  - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。**
  - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
  - 作業場は十分に明るくしてください。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 感電に注意してください。**
  - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ 子供を近づけないでください。**
  - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
  - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ 無理して使用しないでください。**
  - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

## ⚠ 警告

- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
  - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
  - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
  - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
  - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
  - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
  - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
  - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
  - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
  - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
  - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。

## ⚠ 警告

- ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑪ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑫ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
- 屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑬ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - 常識を働かせてください。
  - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑭ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ⑮ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ⑯ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理しますと、事故やけがの原因になります。

# 二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に回マークで表示してあります。純正品以外の部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなりま  
す。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

## 本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、丸のこととして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

### 警告

① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。

② 保護カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。

- のこ刃が露出していると、けがの原因になります。

③ のこ刃は、銘板に表示してある範囲内ののこ刃を使用してください。

また、歯底径が C 6SS は 130 mm 以下、C 7SS は 150 mm 以下ののこ刃は使用しないでください。

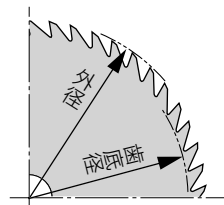
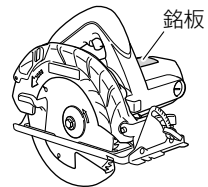
- 保護カバーのおおいが不完全となり、けがの原因になります。

④ 切断する材料は、安定性のよい台に置いてください。

- 台が不安定であると、けがの原因になります。

⑤ 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでのこ刃がはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。

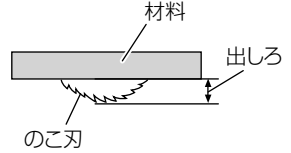
- のこ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。



## ⚠ 警告

- ⑥ 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。

また、切り落とした材料がのこ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、のこ刃の出しろの3倍以上にしてください。



- このような台がないと、けがの原因になります。

- ⑦ 使用中は、本体を確実に保持してください。

- 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。

- ⑧ 使用中は、のこ刃や回転部、切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。

- けがの原因になります。

- ⑨ 切断途中で、のこ刃を回転させたまま本体を戻さないでください。必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。

- 回転させたまま本体を戻したり、持ち上げると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。

- ⑩ ベンチスタンドを使用する場合は、スタンドを固定してください。

また、接触予防装置を必ず取付けてください。

- ベンチスタンドがぐらついたり、接触予防装置がないと、けがの原因になります。

- ⑪ 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

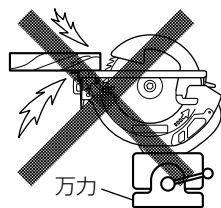
- そのまま使用すると、けがの原因になります。

- ⑫ 誤って落としたり、ぶつけたときは、のこ刃や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

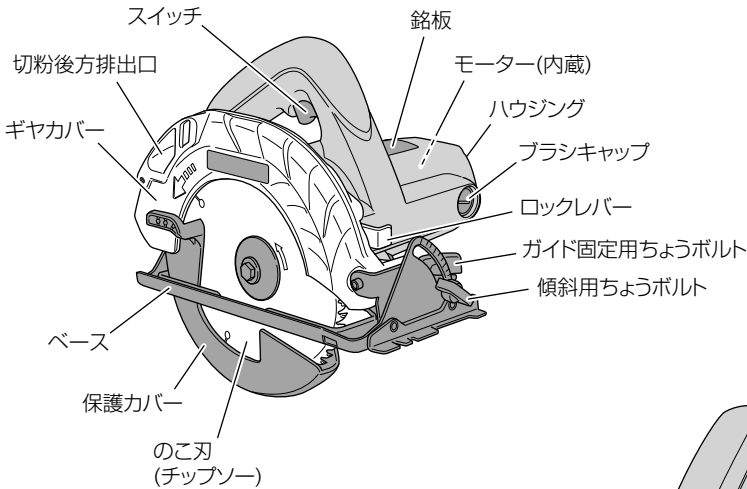
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

## ⚠️ 注意

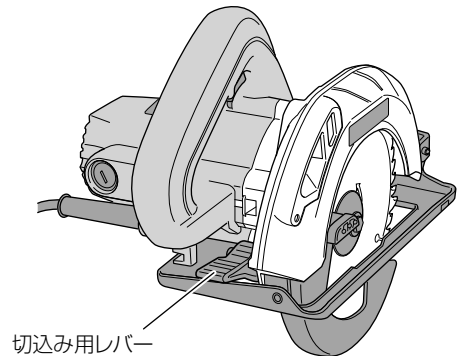
- ① 刃物類（のこ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
  - 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② のこ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
  - のこ刃が破損し、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
  - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ④ 作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、本体の振動やのこ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
  - 異常があると、思わぬ動きをして、けがの原因になります。
- ⑤ ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
  - 本体を落としたりし、けがの原因になります。
- ⑥ 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
  - 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ⑦ 材料に釘などの異物が付いてないことを確認してください。
  - 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- ⑧ 切断しようとする材料の上に手を置いたり、コードを材料の上のせたまま作業しないでください。
  - 手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
- ⑨ 回転するのこ刃で、コードを切断しないよう注意してください。
  - 感電の恐れがあります。
- ⑩ 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
  - 不意の接触などで、けがの原因になります。
- ⑪ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
  - 材料や本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑫ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
  - けがの原因になります。



# 各部の名称



イラストはC 6SS


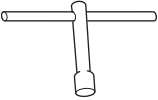



# 仕様

形名	C 6SS	C 7SS
使用電源	単相交流 50/60Hz 共用	電圧 100V
最大切込み深さ	57mm	68mm
のこ刃 (チップソー)	外径 165mm × 穴径 20mm 刃数 52	外径 190mm × 穴径 20mm 刃数 52
使用できるのこ刃	外径 160mm ~ 165mm × 穴径 20mm	外径 180mm ~ 190mm × 穴径 20mm
無負荷回転数	5,500 min <sup>-1</sup> {回/分}	
全負荷電流	11A	
消費電力	1,050W	
モーター	単相直巻整流子モーター	
質量 (コード、のこ刃を除く)	3.4kg	3.6kg
コード	2心キャブタイヤケーブル 5m	



# 標準付属品

標準付属品	形名(仕様)	C 6SS C 7SS	C 6SS(N) C 7SS(N)
① チップソー		1枚 スタンダードタイプ	(別売)
② ボックススパナ		1個	1個
③ ガイド		1個	1個

## 別売部品

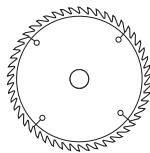
(別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください)

### ⚠ 警告

別売部品を使用の際も保護メガネを使用してください。

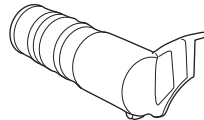
#### のこ刃

のこ刃やチップソーにつきましては、カタログを参照してください。またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



#### ダクトアダプタ

切粉排出口に取付けて、集じん機に接続します。  
(P.20「ダクトアダプタの使い方」参照)



#### 丸のこベンチスタンド (接触予防装置付)

PS7 - BS3

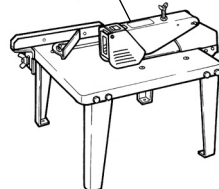
丸のこで定置作業をする場合に用います。

#### 使用できるのこ刃

C 6SS : 外形 160 mm ~ 165 mm

C 7SS : 外形 180 mm ~ 190 mm

接触予防装置



# ご使用前の準備

## ●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

## ●漏電しゃ断器の設置

本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

## ●延長コードを使う場合

### ⚠警告

延長コードは損傷のないものを用意してください。

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードをご使用ください。

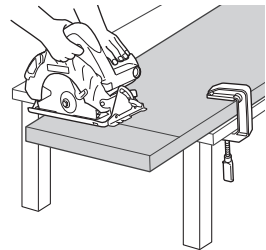
右表は使用できるコードの太さと、最大の長さです。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

コードの太さ (mm <sup>2</sup> ) (導体公称断面積)	最大の長さ (m)
1.25	10
2	15
3.5	30

## ●作業台 (木製) を用意します

- のこ刃が材料の下面より出ますので、作業台の上に置いて材料を切断します。
- 材料の切り残し側を、しっかり押さえてください。
- バイスで固定するなどしてしっかり押さえれば、両手で作業することができます。



### ○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

# のこ刃の取付け

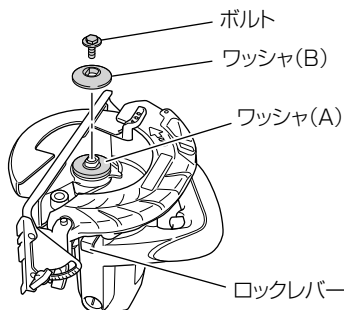
本製品は工場出荷時、のこ刃(チップソー)が本体に装着されておりません。  
初めてお使いになる場合は、のこ刃を取付けてから作業を始めてください。

## ⚠警告

- のこ刃の取付けの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
思わぬ事故の原因になります。
- のこ刃の取付けの際は、安定した台や床の上で行ってください。
- ボルトの締付けは付属のボックススパナで作業してください。  
付属以外の工具を使用すると、締過ぎや締付け不足になり、けがの原因になります。

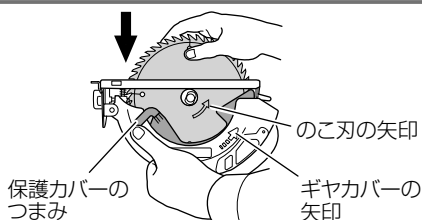
## 1 ボルトとワッシャ(B)をはずす

- ワッシャ(B)を押さえながら、手でボルトを反時計方向に回します。固くてボルトがはずれない時は、P.17の①を参照し、ボックススパナを用いてください。
- ボルトとワッシャ(B)をはずし、ワッシャ(A)は付けたままにします。



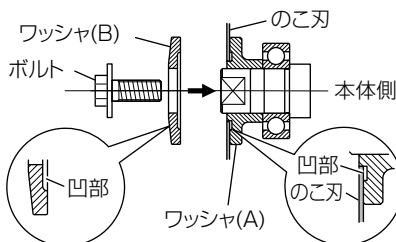
## 2 のこ刃を取付ける

保護カバーのつまみを持って、保護カバーをギヤカバーの中に引き込み、のこ刃の矢印がギヤカバーの矢印方向と一致するようにのこ刃を取付けます。



## 3 のこ刃を固定する

ワッシャ(B)の凹部をのこ刃側にして取付け、ロックレバーを押し込み、のこ刃軸を固定して、ボックススパナでボルトを時計方向に十分に締付けます。  
(P.11の④参照)



# ご使用前の点検

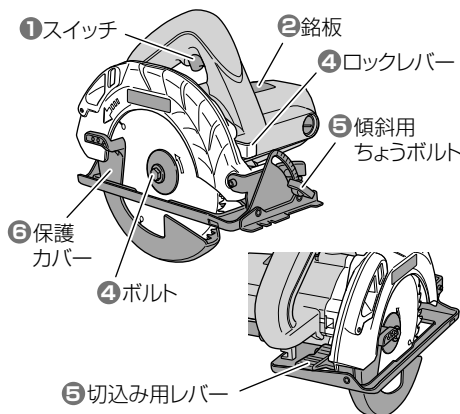
## ⚠ 警告

使用前に次のことを確認してください。手順①、②、④～⑥については、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

- 注**
- 切断トイシは使用できません。
  - 木材以外を切断すると、ベース面に傷が付きやすくなります。

### 1 スイッチが切れていることを確かめる

- スイッチが入っているのを知らずに、電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。
- 一度スイッチを引いてストッパがはずれていることを確認してください。(P.14の「連続運転について」参照)



### 2 電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。

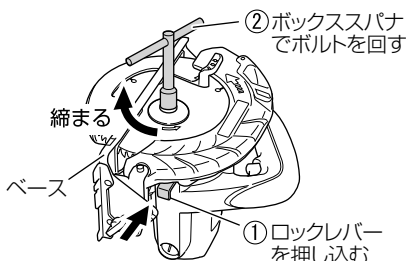
また、直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

### 3 コンセントを確かめる

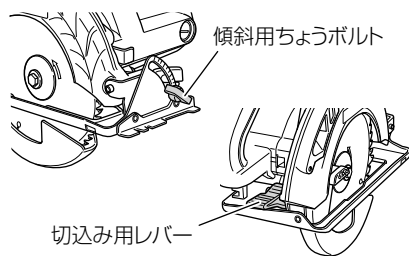
コンセントががたついたり、電源プラグが抜けるようだとは修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。

### 4 この刃の締付けを確かめる

ロックレバーを押し込みながら、付属のボックススパナでボルトを時計方向に回すと、この刃の回転が止まる位置があります。その状態のまま締付けます。



- 注** この刃を締付けた後、スピンドルロックがもとの位置に戻っていることを確認してください。

**5****切込み用レバー、  
傾斜用ちょうボルトの  
締付けを確かめる**

切込み用レバー

**6****保護カバーの  
動きを確かめる**

保護カバーは、身体がのこ刃に触れるのを防ぐものです。

必ずのこ刃をおおるように円滑に動くことを確認してください。

**7****ブレーキが  
かかることを確かめる**

この本体はスイッチを切ると同時に、のこ刃の回転にブレーキがかかる構造になっています。

ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。

**警告**

- のこ刃の締付けボルト、切込み用レバー、傾斜用ちょうボルトが十分に締まっていることを確認してください。ゆるんでいると、けがの原因になります。
- 保護カバーは、絶対に固定しないでください。のこ刃が露出していると、けがの原因になります。

**注** ④ ロックレバーが元の位置に戻らない場合、⑥ 保護カバーが円滑に動かない場合、⑦ ブレーキが正常に作動しない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

**注意**

ブレーキが働くときの反発力に注意してください。  
本体を落としたりし、けがの原因になります。

準備

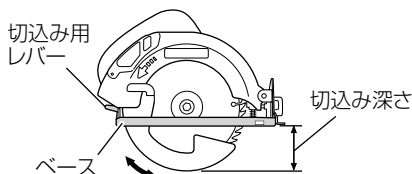
# 直角に切断する

## ⚠ 警告

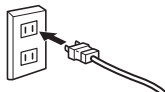
万一の事故を防止するため、①はスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて調整してください。

## 1 切断する材料の厚みに応じて切込み深さを調整する

切込み用レバーをゆるめ、ベースを上/下させて調整し、切込み用レバーを締付けてベースを固定します。

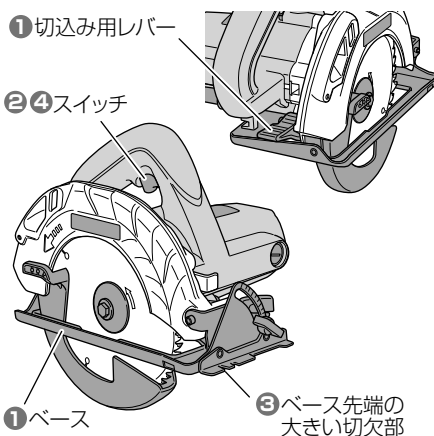
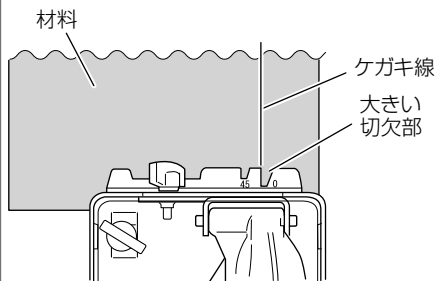


## 2 スイッチが切れていることを確認して、電源プラグをコンセントにさし込む



## 3 ケガキ線に合わせる

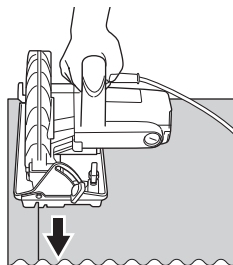
材料の上にベース先端部をのせ、ケガキ線にベース先端の切欠部を合わせます。大きい切欠部を目安にしてください。



**注** 切断を始める前に、のこ刃の回転が最高速になるようにしてください。

## 4 スイッチを入れ、ゆっくり前方に進める

- のこ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ、そのまま本体をゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにします。
- ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。

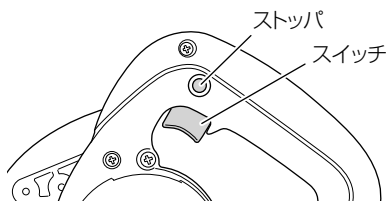


- ガイドを使って切断する際には、P.19「ガイドの使い方」を参照してください。

## ● 連続運転について

スイッチをいっばいに引いた状態でストッパを押すと連続運転になります。

スイッチを切るときは、もう一度スイッチを引き、ストッパがはずれてから指を離します。



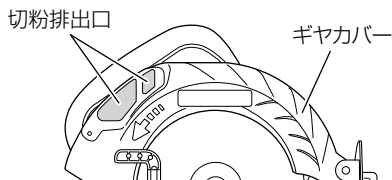
## 警告

- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用中に異常音や異常振動など本体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。
- 切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。本体をまっすぐに静かに進めるようにしてください。反発力を受け、けがの原因になります。また、モーター部に無理がかかるとともに、のこ刃の寿命を短くします。
- のこ刃を上向き、横向きにした使い方は絶対にしないでください。けがの原因になります。

## ● 切粉の排出について

切断された材料の切粉は、ギヤカバーの切粉排出口から出されますが、材料の種類・切断のやり方等によりましては、まれに切粉がギヤカバーにつまることがあります。

その際は、まずのこ刃をはずし、切粉排出口から空気を強く吹き付けるか、または、やわらかい針金等でつまった切粉を取除いてください。

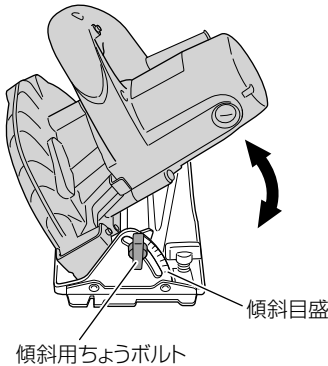


# 傾斜切断する

## 1

### 傾斜角度を調整する

- 傾斜用ちょうボルトをゆるめ、傾斜角度を調整します。のこ刃をベースに対して、45°まで傾けることができます。
- ちょうボルト締付け部に5°刻みの傾斜目盛が付いています。正確な角度で切断したい場合はベースとのこ刃の角度を定規で測定してください。

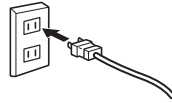


## 警告

- 万一の事故を防止するため、①～②はスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて調整してください。
- ①調整後、傾斜用ちょうボルトを十分に締付けてください。ゆるんでいると、けがの原因になります。

## 3

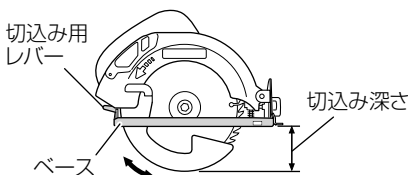
### スイッチが切れていることを確認して、電源プラグをコンセントにさし込む



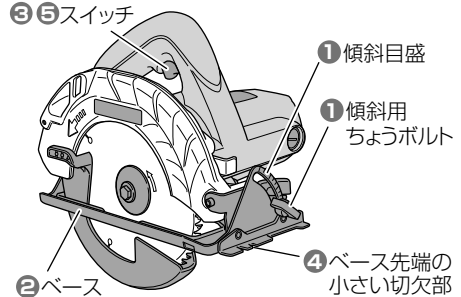
## 2

### 切断する材料の厚みに応じて切込み深さを調整する

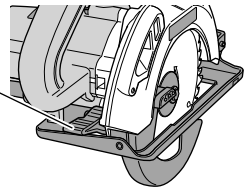
切込み用レバーをゆるめ、ベースを上下させて調整し、切込み用レバーを締付けてベースを固定します。



### ⑤ スイッチ



### ② 切込み用レバー

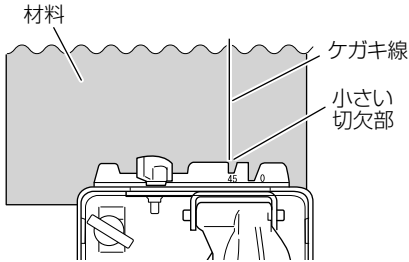




# 4

## ケガキ線に合わせる

45°傾斜するときには、材料の上にベース先端部をのせ、ケガキ線にベース先端の小さい切欠部を目安に合わせます。

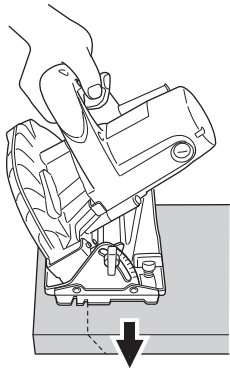


**注** 切断を始める前に、のこ刃の回転が最高速になるようにしてください。

# 5

## スイッチを入れ、ゆっくり前方に進める

- のこ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ、そのまま本体をゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにします。
- ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。



●ガイドを使って切断する際には、P.19「ガイドの使い方」を参照してください。

## 警告

- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用中に異常音や異常振動など本体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。
- 切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。本体をまっすぐに静かに進めるようにしてください。反発力を受け、けがの原因になります。また、モーター部に無理がかかるとともに、のこ刃の寿命を短くします。
- のこ刃を上向き、横向きにした使い方は絶対にしないでください。けがの原因になります。

# のこ刃の交換

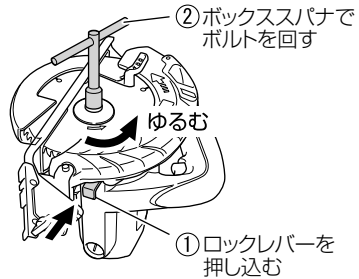
## ⚠ 警告

- のこ刃の取りはずし・取付けの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
思わぬ事故の原因になります。
- のこ刃の取りはずし・取付けの際は、安定した台や床の上で行ってください。
- ボルトの着脱は付属のボックススパナで作業してください。  
付属以外の工具を使用すると、締過ぎや締付け不足になり、けがの原因になります。

## ● のこ刃の取りはずし

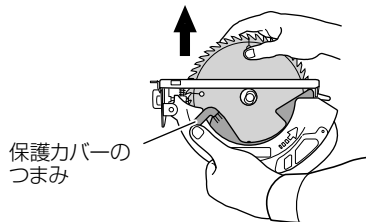
### 1 ボルトとワッシャ (B) をはずす

- ロックレバーを押し込みながら、付属のボックススパナでボルトを反時計方向に回すと、のこ刃の回転が止まる位置があります。この状態でのこ刃軸が固定されます。
- ロックレバーを押し込んだまま、ボックススパナを反時計方向に回し、ボルトとワッシャ (B) をはずします。



### 2 のこ刃を取りはずす

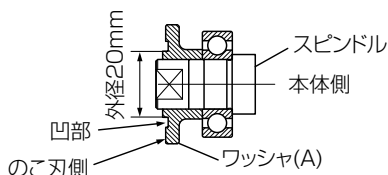
- 保護カバーのつまみを持って、保護カバーをギヤカバーの中に引き込み、のこ刃を取りはずします。



## ● のこ刃の取付け

### 1 ワッシャ (A) の凹部の のこ刃側にして取付ける

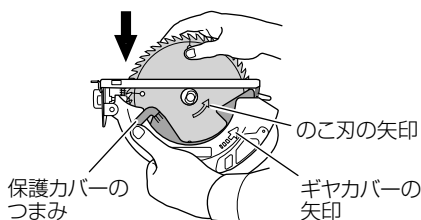
- スピンドルや、ワッシャ (A)、ワッシャ (B) に付いている切りくずをよくふき取ってください。
- ワッシャ (A) は、穴径 20 mm ののこ刃だけが取付けできるようになっています。



- 注** • ワッシャ (A) の取付け方向を誤ると、のこ刃を取付けることができません。  
• ワッシャ (A)、ワッシャ (B) は必ず本体に取付けてあるものを使用してください。

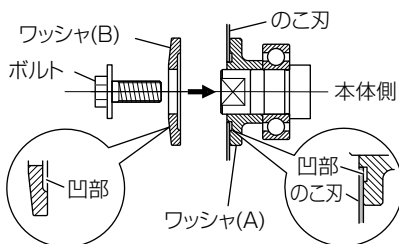
### 2 のこ刃を取付ける

保護カバーのつまみを持って、保護カバーをギヤカバーの中に引き込み、のこ刃の矢印がギヤカバーの矢印方向と一致するようにのこ刃を取付けます。



### 3 のこ刃を固定する

ワッシャ (B) の凹部をのこ刃側にして取付け、ロックレバーを押し込み、のこ刃軸を固定して、ボックススパナでボルトを時計方向に十分に締付けます。  
(P.11 の④参照)



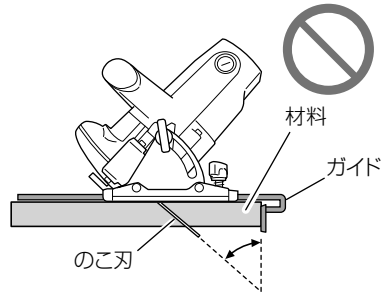
- 注** • のこ刃を締付けた後、ロックレバーが元の位置に戻っていることを確認してください。

### 4 のこ刃がガタつきなく、円滑に回転することを確認する

# ガイドの使い方

## ⚠ 警告

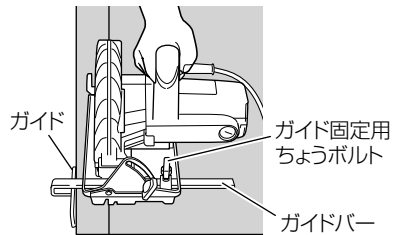
ガイドを使用する際、のこ刃とガイドの間に切り落した材料がはさまるような傾斜切断はしないでください。思わぬけがの原因になります。



ガイドは材料の端面に対して平行に切断するときを使用します。

## ● ガイドの取付け方

- ① ガイドのガイドバーを、ベース側面（切り落とし側）前方の穴に通します。
- ② ガイドを左右に動かして切断位置を調整し、前方のガイド固定用ちょうボルトを締付け、ガイドバーをしっかりと固定します。

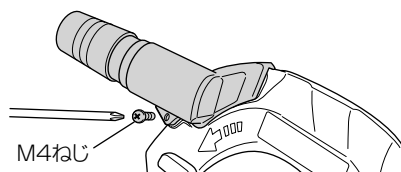
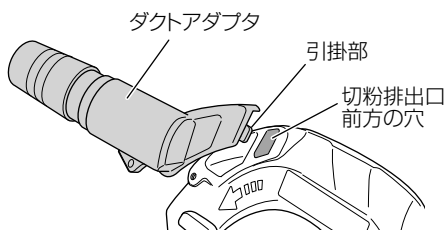
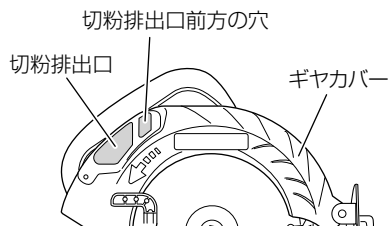


# ダクトアダプタ（別売部品）の使い方

集じん機と接続する際、ギヤカバーの切粉排出口にダクトアダプタを取付けて使用します。集じん機に接続する際、集じん機側のホース内径がφ 31mm のものが接続できます。その他のホースサイズの場合は、別売のホースアダプタが必要ですのでお問い合わせください。

## 取付け方

- ①ダクトアダプタの引掛部を、ギヤカバーの切粉排出口前方の穴にさし込みます。
- ②ダクトアダプタに付属の M4 ねじでダクトアダプタを締付け、ギヤカバーに固定します。



# 保守・点検

## ⚠ 警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ● のこ刃の点検

切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。早めに新品と交換してください。

## ⚠ 警告

切れ味の悪くなったのこ刃はそのまま使用しないでください。無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

## ● 機体の点検

各部位の取付けに、ガタつきやゆりみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

## ● 本体はきれいに

石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

## ● 保護カバーの動作点検と保守

保護カバーは、いつも円滑に動作するようにしてください。なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。

## ● 製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

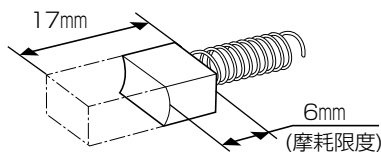
- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
  - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
  - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
  - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

## ●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(6mm ぐらい)になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

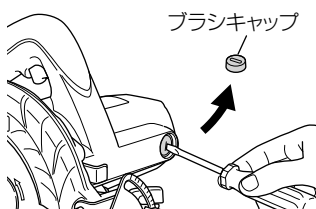
**注** 新品のカーボンブラシと交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシをご使用ください。  
指定外のカーボンブラシを使用すると、ブレーキがかからないことがあります。



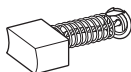
## ●カーボンブラシの交換方法

### 1 ブラシキャップをはずす

マイナスドライバーなどでブラシキャップを反時計方向に回してはずします。



### 2 カーボンブラシを取り出す

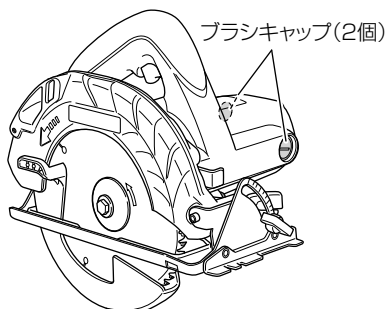


### 3 新しいカーボンブラシを 取付ける

ブラシホルダの角穴に合わせて、カーボンブラシを指で押し込みます。

### 4 ブラシキャップを 取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押しさえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。



# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。  
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ  
お問い合わせください。

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理  
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)		

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。  
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。  
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、  
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点を  
ご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに  
アクセス

バーコードリーダー機能付きの  
携帯端末より読み取ることで、  
最新の全国営業拠点をご確認  
いただけます。



# 工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)  
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>